

# 北海道社会保険病院だより

平成17年7月15日 第14号

## 心血管センターのご案内

心血管センター長 五十嵐 慶一

当院での循環器専門診療は、循環器科の1999年の開設により開始されました。その目的は心臓病のなかでも生命に係わる狭心症、心筋梗塞、急性心不全などの重症な病気に直ちに救急対応し、生命予後の改善をはかることでした。そして、常に最先端の心臓病治療を患者さんに提供するため循環器専門医師が24時間365日待機した、循環器系集中治療室（ICCU）を同時に開設し、いつでも同じ高度な治療を実践できるよう努力して参りました。

一方、心血管外科も2001年の開設以来、心血管外科領域のなかで

も虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）、弁膜症、大動脈瘤などの成人の後天性心疾患の手術を中心に多数の手術を行っています。なかでも冠動脈バイパス手術においては従来のように心臓を停止させず、動いたままで手術を行う心拍動下手術を導入し、高齢者や全身状態の不良な患者さんでも安心して手術を行うことが可能となりました。

この度、心臓手術に経験の深い、2名の常勤麻酔科医を迎えたことにより、心血管疾患に対するほぼすべての治療が内科、外科を含めて24時間対応可能となりました。そこで6月より内科、外科を包括した心血管センターとして活動することになりました。

具体的に心血管センターとしての有利な点は、外来、病棟、循環器系集中治療室（ICCU）、心臓リハビリ部門を一体化しており、疾患管理のあらゆる段階において内科的、外科的かわりが垣根なく行われることであります。

また患者さまにとって心臓の病気が疑われた場合、内科、外科と迷うことなくセンターを受診していただければよいということがあります。



【ICCU】

看護体制も心臓血管センターの外来、病棟、集中治療室は同一看護単位となっており、患者様のすべての診断、治療経過に関する情報が共通のクリティカルパスを使用し、正確になおかつ円滑に伝達されるシステムになっています。

また、集中治療室入室患者様に関しては毎朝、早朝カンファランスにて当日勤務の関係医師、看護師、臨床工学士全員の出席の元に診断、治療方針の確認が行われます。このように心臓血管センターにおいては重症患者様に高度治療を施行するに当たって、センター関係者全員がすべての情報を共有し、各々の立場からお互いにチェックし、最大効果をあげることを目的にしています。

当センターの具体的な診療上の特徴としては、MRIによる包括的な心臓検査があります。心臓の血流、収縮力、障害の程度を一度に把握することが可能で、なおかつ放射線被爆がなく、造影剤による腎臓障害もほとんどありません。狭心症や自覚症状のない心筋虚血の検査としてきわめて有用であり

当科では年間1000例を超えて実



【6階南ナースステーション】

施しており、国内最大数の実施数となっております。またMRIにて冠動脈造影が必要となった場合、原則的に前腕の橈骨動脈アプローチを用いていることが特長です。出血性合併症の危険がなく、術後のベッド上安静が不要なので、患者さんの負担を大きく軽減しています。また、急性心筋梗塞や不安定狭心症に対する緊急冠動脈造影はいつでも実施しております。こうした検査所見に基づき、

冠動脈インターベンションとバイパス手術のどちらの方法で治療するか、一人一人の患者様にあわせて、最善の方法をきめ細かく検討しております。そのほかの特徴では、検査説明について実際の検査を撮影したDVDを看護師、医師の説明に先立って患者様にご覧いただき、より視覚的に検査をイメージできるように配慮しております。このようにして行つたすべての検査結果、画像診断は電子情報としてサーバー管理されており、センター病棟、外来に設置された端末から閲覧でき、効率的、効果的な患者様への説明が出来るようになっていきます。

治療実績では、現在年間1000例を超える冠動脈のカテーテル検査と400例のカテーテル治療を行っており、その数は年々増加しており、北海道内の主要施設のひとつとな

ています。カテーテル治療の札幌ラ イブでは主催病院の1つとなっており、北海道内のみならず、日本国内の循環器治療の指導的立場を担っています。

われわれのモットーとして安全で良質の医療を提供するのは当然ですが、様々な手段を用いた十分な説明と同意に基づいた安心して受けられる医療の環境作りがもっとも大事なことでと考えています。心臓に関して医療機関を受診したいとお考えの場合は、是非ご利用戴ければ幸いです。

## 医療相談室の紹介

ソーシャルワーカー 佐藤奈津子

こんにちは。医療相談室です。

医療相談室では、生活上のご相談をうけたまわる専門の職員（ソーシャルワーカー）2名と、事務職員1名で、患者様に安心して療養いただけるお手伝いをしております。

病気になる、それまでは思いもよらなかつた色々な問題が起こってくる、医療費の支払いはどうすればいいの？」「自宅療養に不安があつて...」「何か利用できる制度があるかしら？」「車椅子はどこで手に入るの？」「介護できるかどうか心配」「他の

病院や施設の利用方法を教えて欲しい」など

お元気なときにはお一人で解決できるような生活上の問題も、病気という予想外の事態が降りかかることで、悩み、迷われた経験がありではないでしょうか。もちろん、医師や看護師など、普段皆様に接している医療スタッフもお力にならせていただきますが、

医療相談室では専門のソーシャルワーカーがご相談をうけたまわっております。

経済的なご相談、退院後の生活や介護に関するご相談、福祉サービスのご紹介など、「誰に相談したらいいのかしら」とお困りのことがございましたら、ソーシャルワーカーへお声掛けください。医療制度が複雑になり、核家族化・高齢化が進む現代、皆様が少しでも安心して治療を続けることができるお手伝いをさせていただきます。また、患者様からはご相談のみならず、当院へのご意見・ご希望なども医療相談室で承っております。皆様



【医療相談室スタッフ】

のお声をいただき、より良質で安心いただける医療の提供を目指し努力して参りたいと存じますので、是非、お気軽に医療相談室をおたずねください。

皆様からご相談いただいた内容は秘密厳守いたします。

**場所 / 外来棟正面玄関横  
相談時間 /**

**月 / 金 午前9時～午後5時**

ご相談の際は直接医療相談室にお越しください。入院中の患者様は病棟看護師にお話くださればお部屋までお伺いいたします。お電話でのご相談も承ります。

当院のソーシャルワーカーは2名のため、他の患者様とご相談中はお待ちいただく場合もございますのでご了承ください。事前のご予約も承っております。

### 編 集 後 記

7月になり、やっと夏らしい暑い日が多くなってきました。夏風邪には十分ご注意ください。

編集責任者  
事務局 佐々木憲一

北海道社会保険病院

TEL : 011-831-5151

URL: <http://www.hok-shaho-hsp.jp/>